



共通テスト， 総合型選抜・ 学校推薦型選抜， 一般選抜と

多様な入試突破へ全面支援



例題集，解答編 付き

- 本編と同じサイズで収納しやすい「例題集」
- 丁寧に詳しい「解答編」

特長1 多様な入試に対応できる充実の構成

- 1 「入試攻略—総合型選抜・学校推薦型選抜編—」 ▶ p.2
- 2 「共通テスト攻略例題」 ▶ p.2
- 3 「入試への準備」 ▶ p.3
- 4 「定期テスト・単元テスト攻略」 ▶ p.3

特長2 スモールステップで基本が 確実に理解・定着できる構成

- 5 「まとめ」～「問題編」 ▶ p.4
- 6 「中学校までの確認」 ▶ p.5
- 7 「反復練習」 ▶ p.5

特長3 数学的思考力の育成

- 8 「思考のプロセス」 ▶ p.6
- 9 「コラム (Play Back, Go Ahead)」 ▶ p.7
- 10 「思考力問題」 ▶ p.7

特長4 有効なアクションコンテンツで学習支援

- 11 「解説動画」「デジタルコンテンツ」 ▶ p.8

1 巻末「入試攻略—総合型選抜・学校推薦型選抜編—」で推薦の準備 **New**

- 近年、**総合型・推薦型選抜での受験生が増加**しています。
- 「入試攻略」では、従来の「一般選抜編」の問題に加え、「**総合型選抜・学校推薦型選抜編**」を新設しました。
- **推薦ならではの特徴的な問題**を取り上げ、推薦への準備・対応ができるようにしました。

入試攻略

総合型選抜・学校推薦型選抜編 ▶▶解答編 p.487

1章 数と式

1 $\frac{1}{\sqrt{2}+\sqrt{1}} + \frac{1}{\sqrt{3}+\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{4}+\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{5}+\sqrt{4}} + \frac{1}{\sqrt{6}+\sqrt{5}} + \frac{1}{\sqrt{7}+\sqrt{6}}$
 $+ \frac{1}{\sqrt{8}+\sqrt{7}} + \frac{1}{\sqrt{9}+\sqrt{8}}$ を簡単にせよ。 (摂南大)

▲ I + A p.532

最新の膨大な数の問題の中から
 選び抜いた問題を取り上げました。

6章 場合の数と確率

11 高校生の A さんは、次の組分けに関する問題に取り組んだ。
 問題 6人、2人ずつ3組に分ける方法は何通りあるか。
 そして、Aさんは、この問題に次のように解答した。
 6人から2人を選ぶ選び方は 6C_2 通り、残り4人から2人を選ぶ選び方は 4C_2 通りある。2つの組が決まれば、3つ目の組は決まる。
 したがって、分け方の総数は
 ${}^6C_2 \times {}^4C_2 \times {}^2C_2 = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} \times \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} \times 1 = 90$ (通り)
 以下の問に答えよ。
 (1) Aさんの解答には、誤りが含まれている。上の問題に対する正しい解答を書け。
 (2) Aさんに解答の誤りを気づかせるために、どのような工夫が必要か。あなたの考えを述べよ。 (山口大)

▲ I + A p.534

一般選抜編 ▶▶解答編 p.501

1章 数と式

17 a, b を定数とし、 x についての多項式
 $A = x^3 + (a+1)x^2 - (5a^2-3)x + 7a - 1, B = x^2 - 2ax - a + 1, C = x + b$ を考える。多項式 $A - BC$ を展開して、 x について整理するとき、 x^2 の係数を p, x の係数を $q, 定数項$ を r とする。
 (1) p を a と b の式で表せ。
 (2) $p = 0$ とおくと、 q と r をそれぞれ a の式で表せ。
 (3) $p = 0, q = 0, r = 0$ とおくと、 a, b の値をそれぞれ求めよ。
 (4) (3) のとき、多項式 A を3つの1次式の積の形に因数分解せよ。 (センター試験 改)

▲ I + A p.536

2 巻末「共通テスト攻略例題」で共通テストの準備

- 「共通テスト攻略例題」で、**対策問題**を扱いました。
- **長文、会話、日常、ICT**などの問題を通して、共通テストの準備・対策ができます。
- 従来の例題に加え、**問題編を新設**しました。 **New**

共通テスト攻略例題 **7 図形の性質** ▶▶解答編 p.475

$\triangle ABC$ において、 $AB = AC = 7, BC = \sqrt{7}$ とする。辺 AB 上に $AD = 5$ となるように点 D をとり、辺 BC の C の側の延長と $\triangle ACD$ の外接円との交点で C と異なるものを E とする。また、 $\triangle ABE$ の重心を G, AC と DE の交点を P とおく。

$BC \cdot BE = \frac{ア}{イ}$ であるから $CE = \sqrt{\frac{ウ}{エ}}$
 よって $AG = \frac{オ}{カ}$

▲ I + A p.524

例題で理解した後、新設した問題編でさらに理解を深められます。

問題編 共通テスト攻略例題 ▶▶解答編 p.475

1 学級委員の太郎さんと花子さんは、クラスで希望者を募ってバス旅行をする計画を立てている。以下は、そのときの2人の会話である。会話を読んで、**ア**～**オ**に当てはまる数を答えよ。ただし、消費税はすべて金額に含まれているものとする。

太郎：クラスで旅行に行くのが楽しみだね。多くの人に参加してもらえると、費用をなるべく安く抑えられいいかな。
 花子：バスをチャーターする費用が10万円と決まっています。それ以外に一人あたりの費用として、昼食代1500円、テーマパーク入場料2000円が必要になるね。
 太郎：でも、参加者の人数が26人以上の場合は、テーマパークの入場料は団体割引で全員が2割引きになるみたいだよ。
 花子：26人以上参加してくれればいいんだけど。まずは参加者の人数が25人だった場合に一人あたりの旅行費用がいくらになるか、計算してみよう。
 太郎：バス代金を一人あたりにおすと4000円だから、旅行費用の総額は一人あたり7500円になるね。
 花子：もう少し安くできないかな。
 例え、一人あたりの費用を6500円以下にするとすれば、何人以上参加する必要があるのかな。
 太郎：参加者の人数を x 人として考えると
 不等式 $100000 + \frac{アイウエ}{カ}x \leq 6500x$ … ①
 が成り立つよ。

▲ I + A p.526

3 章末「入試への準備」で、早期に入試準備 **New**

- 標準的な問題を解いて章の学習を終えた後、**応用的な問題で入試への準備**ができます。
- **校内実力テスト、模試の対策**などに取り組むとよい問題を扱いました。

入試への準備 3章 ▶▶解答編 p.203

1 (1) 放物線 $y = -2x^2 + 4x - 4$ を x 軸に関して対称移動し、更に x 軸の方向に8、 y 軸の方向に4だけ平行移動して得られる放物線の式を求めよ。(慶応大)
 (2) 放物線 $y = x^2 + 2x + 3$ を x 軸方向に4だけ平行移動し、次に直線 $y = 5$ に関して折り返してできる放物線の方程式を求めよ。(大阪薬科大) ◀例題68

2 2次関数 $y = a(x-2)^2 + 4$ ($0 \leq x \leq 3$) について、以下の問に答えよ。ただし、 a は0でない定数とする。
 (1) この関数の最大値が8であるような a の値を求めよ。
 (2) この関数の最小値が-4であるような a の値を求めよ。(北海道工業大) ◀例題73

3 (1) $y = 2x^2 + 2ax + 3(a+1)$ の最小値を $M(a)$ とする。このとき、 $M(a)$ の値を最大にする a の値、およびそのときの $M(a)$ の値を求めよ。(名古屋学院大 改)
 (2) 2次関数 $y = -x^2 + 2ax - a$ の $0 \leq x \leq 1$ の範囲における最大値が2となるような定数 a の値を求めよ。(摂南大) ◀例題73, 74, 77

▲ I + A p.218

旧『ニューアクションβ』の節末「Let's Try!」を復活させ、再編成しました。

改訂前の節末「定期テスト攻略」と巻末「入試攻略」の間に「入試への準備」を章末に新設し、**段階的に入試対策**ができるようにしました。

4 節末「定期テスト・単元テスト攻略」で、定期考査直前の対策

- 例題と同レベルで、**定期テストと同じような構成**で出題しています。
- **定期テスト直前に内容の確認**ができます。

定期テスト・単元テスト攻略 **▶ 11** ▶▶解答編 p.261

1 $\triangle ABC$ において、次の値を求めよ。
 (1) $b = \sqrt{2}, A = 15^\circ, C = 135^\circ$ のとき、 c
 (2) $b = 2, c = \sqrt{39}, C = 120^\circ$ のとき、 a ◀例題133, 134

2 $\triangle ABC$ において、 $a = \sqrt{3} - 1, c = \sqrt{6}, B = 45^\circ$ のとき、残りの辺と角の大きさを求めよ。 ◀例題136

3 $\triangle ABC$ において、 $a = 4, b = 5, c = 6$ のとき、次の値を求めよ。
 (1) $\cos A$ (2) $\triangle ABC$ の面積 S ◀例題140

4 $\triangle ABC$ において、 $AB = 7, BC = 8, B = 120^\circ$ のとき、次の値を求めよ。
 (1) CA (2) $\triangle ABC$ の面積 S
 (3) 外接円の半径 R (4) 内接円の半径 r ◀例題141

5 $\triangle ABC$ において、 $AB = 3, BC = \sqrt{7}, CA = 1$ とする。 $\angle A$ の二等分線と BC の交点を D とするとき、次の値を求めよ。
 (1) $\angle BAC$ (2) AD ◀例題143

▲ I + A p.272

単元テスト実施の地域が増え、名称変更しました。節単位で内容を振り返るのにちょうどよい分量です。

推薦に向けては、定期テスト・単元テストの成績が重要なものになります。現行でも多くの生徒にご活用いただいております。

5 本文「まとめ」～「問題編」で、段階的に基礎・基本が理解・定着

- 易→標準→難 の内容を、例・例題で理解→問題演習で確認と、
きめ細かく段階的に構成していますので、つまずきなく理解・定着できます。

中学校までの確認 3章

▶▶解答編 p.98

▲ I + A p.118

4 平方完成

2次式 ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形することを、この2次式を平方完成するという。

平方完成は、等式 $x^2+2kx=(x+k)^2-k^2$ を利用する。

例 ① $x^2+4x=(x+2)^2-2^2=(x+2)^2-4$
 ② $x^2-3x+3=\left\{\left(x-\frac{3}{2}\right)^2-\left(\frac{3}{2}\right)^2\right\}+3=\left(x-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{3}{4}$

▲ I + A p.122

Quick Check 6

▶▶解答編 p.98

平方完成

④ 次の x の2次式を平方完成せよ。

- (1) x^2+2x (2) x^2-6x+3
 (3) $2x^2-8x$ (4) $-x^2+10x$

◀p.122 ④

▲ I + A p.124

例題 65 2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ

重要 サンプル
★★☆☆

次の2次関数のグラフの軸と頂点を求めよ。また、そのグラフをかけ。

- (1) $y=x^2-4x+5$ (2) $y=-2x^2+4x+3$
 (3) $y=x^2-3x+1$ (4) $y=-\frac{1}{2}x^2-2x$

▼ 例題と1対1対応

▲ I + A p.132

練習 65 次の2次関数のグラフの軸と頂点を求めよ。また、そのグラフをかけ。

- (1) $y=x^2+6x+4$ (2) $y=-x^2+4x-1$
 (3) $y=x^2+x+1$ (4) $y=-\frac{1}{2}x^2-x$

▼ 例題・練習と1対1対応

▲ I + A p.133

問題編 6 2次関数とそのグラフ

▶▶解答編 p.108

65 次々の2次関数のグラフをかけ。

- ★★☆☆ (1) $y=-2x^2-6x+\frac{1}{2}$ (2) $y=-\frac{1}{2}x^2+2x+1$
 (3) $y=3x^2-4x+1$ (4) $y=3x^2-5x+1$

▲ I + A p.140

反復練習 6

▶▶解答編 p.114

▲ I + A p.141

■ 既習の確認

…詳細は本書 p.5 6

■ 基本の理解

※解説動画付 New

活用例

- ・まとめを理解するとき
- ・Quick Check でつまずいたとき

■ 基本の確認

■ 重要事項の理解

※解説動画付

■ 例題と同レベルの問題で確認

■ 例題より難しい問題で深化

■ 例題と同レベルの問題の反復で定着

…詳細は本書 p.5 7

6 章頭「中学校までの確認」で、既習の確認 New

- 高校の内容に入らないうまづかなく、章の学習に入る前に、中学校までの内容を簡単に確認できます。
- 高校数学に直結する既習事項を取り上げています。
- 公式・例で理解し、問題で確認する構成です。

中学校までの確認 3章

▶▶解答編 p.98

1 関数 $y=ax^2$

② y は x の2乗に比例し、 $x=2$ のとき $y=12$ である。このとき、 y を x の式で表すと、 y は x の2乗に比例するから、比例定数を a とすると、 $y=ax^2$ と書くことができる。

$x=2$ のとき $y=12$ であるから
 $12=a \times 2^2$
 $a=3$

したがって $y=3x^2$
 $x=-3$ のときの y の値は、 $x=-3$ を $y=3x^2$ に代入すると
 $y=3 \times (-3)^2=27$

- ① (1) y は x の2乗に比例し、 $x=2$ のとき $y=8$ である。このとき、 y を x の式で表せ。また、 $x=-3$ のときの y の値を求めよ。
 (2) y は x の2乗に比例し、 $x=-3$ のとき $y=-36$ である。このとき、 y を x の式で表せ。また、 $x=-2$ のときの y の値を求めよ。

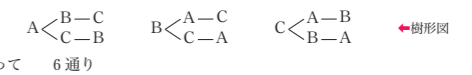
▲ I + A p.118

中学校までの確認 6章

▶▶解答編 p.294

1 並べ方

② 遊園地で A, B, C の3つの乗り物に1回ずつ乗る順序は



よって 6通り

- ① A, B, C, D の4人が横に1列に並んで写真をとる。並び方は何通りあるか。

▲ I + A p.310

数と式、関数、図形、確率などを取り上げています。

7 節末「反復練習」で、基礎・基本を確実に定着 New

- 例題、練習の類題を数多く扱いました。
- 重要内容、苦手内容、問題を数多く解いた方がよい内容に絞って取り上げました。
- 問題を補充して解くことにより、確実に定着できます。

反復練習 6

▶▶解答編 p.114

① 次の2次関数のグラフの軸と頂点を求めよ。

- (1) $y=x^2+6x$ (2) $y=x^2-x$
 (3) $y=x^2+8x+7$ (4) $y=x^2-2x+2$
 (5) $y=x^2+3x+5$ (6) $y=x^2-5x+3$
 (7) $y=2x^2-4x+5$ (8) $y=-x^2-6x-2$
 (9) $y=4x^2+16x+2$ (10) $y=-3x^2+6x-8$
 (11) $y=\frac{1}{2}x^2+x+2$ (12) $y=-\frac{1}{3}x^2+2x+3$

▲ I + A p.141

反復練習 5

▶▶解答編 p.89

① 次の□の中に、必要条件であるが十分条件ではない、十分条件であるが必要条件ではない、必要十分条件である、必要条件でも十分条件でもない、のうち最も適切なものを入れよ。ただし、 a, b は実数、 n は整数とする。

- (1) $2a=2b$ は $a=b$ であるための□。
 (2) $ab=0$ は $a+b=0$ であるための□。
 (3) $a=0$ は $ab \geq 0$ であるための□。
 (4) $|x| \geq 3$ は $|x-5| < 1$ であるための□。
 (5) n が3の倍数であることは、 n が9の倍数であるための□。
 (6) n が素数であることは、 n が奇数であるための□。
 (7) 2つの円 O_1, O_2 の半径が等しいことは、2つの円 O_1, O_2 の面積が等しくなるための□。
 (8) $\triangle ABC$ が鋭角三角形であることは、 $\angle A < 90^\circ$ であるための□。

▲ I + A p.113

たくさん解きたいとき、少し時間がたってから解きたいとき、複数の例題のタイプをまとめて解きたいときに有効です。

8 例題「思考のプロセス」で思考力の育成

- 例題に、解答に至るまでの考え方**思考のプロセス**を示しました。
- 多くの例題に共通する数学的な思考法を**プロセスワード**として挙げました。
- 生徒に**数学的思考法**を意識させ、その後の問題解決において活用を促します。
- 既習例題との対比や試行錯誤の過程などを**図解**で示すことにより、生徒に強く印象づけます。
- 途中を穴埋めにしたり、文末を疑問形にしたりして、**生徒に考えさせる工夫**をしています。

プロセスワードの例

「条件の言い換え」、「既知の問題に帰着」、「具体的に考える」、「場合に分ける」、「候補を絞り込む」、…

例題 23 分母の有理化

次の式の分母を有理化せよ。

(1) $\frac{6}{\sqrt{18}}$ (2) $\frac{4}{3+\sqrt{5}}$ (3) $\frac{\sqrt{5}+\sqrt{7}}{\sqrt{5}-\sqrt{7}}$

公式の利用

(1) 分母 $\sqrt{18}$ は項が1つ $\Rightarrow (\sqrt{a})^2 = a$ を利用
 $\sqrt{18}$ を有理化するより、 $3\sqrt{2}$ として $\sqrt{2}$ を有理化する方が計算が簡単。

(2) 分母 $3+\sqrt{5}$ は項が2つ $\Rightarrow (\sqrt{a}+\sqrt{b})(\sqrt{a}-\sqrt{b}) = a-b$ を利用
 分母・分子に何を掛ければよいか。
 $\frac{(3+\sqrt{5})(3-\sqrt{5})}{(3+\sqrt{5})(3-\sqrt{5})} = \frac{14+6\sqrt{5}}{3^2-(\sqrt{5})^2} = \frac{14+6\sqrt{5}}{4}$ **×有理化失敗**
 $\frac{(3+\sqrt{5})(3-\sqrt{5})}{(3+\sqrt{5})(3-\sqrt{5})} = \frac{3^2-(\sqrt{5})^2}{4}$ **○有理化成功**

Action>> 分母の有理化は、 $(\sqrt{a})^2 = a$ 、 $(\sqrt{a}+\sqrt{b})(\sqrt{a}-\sqrt{b}) = a-b$ を用いよ

▲ I + A p.51 試行錯誤の過程を明示

例題 92 2次方程式の文章題

縦が横の2倍の長さである長方形がある。この長方形の縦の長さを1cm短く、横の長さを2cm長くすると、面積が63cm²の長方形になった。もとの長方形の面積を求めよ。

Action 文章題は、未知のものを x とおいてその変域に注意せよ ◀例題32
 未知のものを文字でおく
 辺の条件 \square がある。
 {もとの長方形の横の長さを x cm とおく。
 {変域 \dots x で表した辺の長さのとり得る値の範囲から考える。

図をかく

▲ I + A p.178 □を用い、生徒に考えさせる工夫

- 本文例題に加え、巻末「融合例題」にも**思考のプロセス**を新設しました。 **New**
- 複数の内容を融合した問題でも、**解決の糸口を見つけるのに有効**です。

融合例題 2 2次方程式の整数解

次の x の2次方程式が整数解をもつように、整数の定数 k の値を定めよ。また、そのときの整数解を求めよ。

(1) $2x^2 + 3kx + 2k^2 - 7 = 0$ (2) $x^2 - 3x + 6 - k^2 = 0$

候補を絞り込む 条件をゆるくして考える。
整数解をもつ \Rightarrow **実数解をもつ** \Rightarrow 判別式 $D \geq 0$
 $\Rightarrow k$ についての不等式から整数 k の値を絞り込める。

(2) (1)と同様に実数解をもつための条件を考えると
 $D = 4k^2 - 15 \geq 0$ より $k \leq -\frac{\sqrt{15}}{2}$, $\frac{\sqrt{15}}{2} \leq k$ となるが、整数 k の値を絞り込めない。
 \Rightarrow 解の公式 $x = \frac{0 \pm \sqrt{D}}{\square}$ が**整数** $\Rightarrow \sqrt{D}$ が**整数**になる (x が有理数)
 条件をゆるくした

(1), (2)とも、条件をゆるめて考えたから、**解の候補が実際に整数となるか確かめる。**

Action>> 方程式の整数解は、**実数解をもつ条件、約数・倍数の性質**を使え

融合例題は、本文の例題の組み合わせです。どのように**思考を組み合わせるか**を**思考のプロセス**で示しています。

▲ I + A p.500

9 本文「コラム (Play Back, Go Ahead)」で理解の深化

- コラムでは、**誤り防止の解決法**、**解法の比較**、**解法や性質の様々な見方**、**定理の別証明**、**性質の一般化**などの題材を多数扱いました。

Play Back 9 2次不等式の解き方のよくある誤り (ミスに注意!)

2次不等式 $ax^2 + bx + c > 0$, $ax^2 + bx + c < 0$ を解くにあたり、 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフと x 軸の位置関係から解を求めますが、2次方程式の解などと混同してしまうなどの誤りがよくあります。

(1) $x^2 > 4$ を解け。

× $x^2 > 4$ より $x > \pm 2$

$x^2 = 4$ の解を $x = \pm 2$ とするのと同じように考えてしまっています。2次不等式では、すべて左辺に移項して $x^2 - 4 > 0$ から、 $y = x^2 - 4$ のグラフが x 軸より上方にある x の値の範囲を求めます。

$x^2 > 4$ より $x^2 - 4 > 0$
 $(x+2)(x-2) > 0$
 よって $x < -2, 2 < x$

▲ I + A p.196

「ミスに注意!」は例題の側注でも扱っています。

Go Ahead 5 変数 $y = ax + b$ における平均値と分散

n 個の値 $x_1, x_2, x_3, \dots, x_n$ をとる変数 x の平均値を \bar{x} 、分散を s_x^2 とします。
 定数 a, b に対して、 $y = ax + b$ で定められる変数 y の平均値と分散について考えてみましょう。
 まず、変数 y の平均値 \bar{y} と変数 x の平均値 \bar{x} の間には、関係式 $\bar{y} = a\bar{x} + b$ が成り立ちます。

平均値の定義

・ $\bar{y} = a\bar{x} + b$ の証明
 $\bar{y} = \frac{1}{n} \{ (ax_1 + b) + (ax_2 + b) + \dots + (ax_n + b) \}$
 $= \frac{1}{n} \{ a(x_1 + x_2 + \dots + x_n) + nb \}$
 $= a \cdot \frac{1}{n} (x_1 + x_2 + \dots + x_n) + b$
 $= a\bar{x} + b$

▲ I + A p.289

10 節末「思考力問題」で思考力の育成 **New**

- 近年、学習指導要領・入試の変化から、**思考力が重視**されています。
- 節末「定期テスト・単元テスト攻略」で、**思考力問題を新設**しました。
- **正しいものの選択**、**誤答指摘**、**理由説明**など様々な問題を扱い、**思考力が身に付く**ようにしました。

思考力 7 A, B がともに x の2次式のとき、 $A+B$ は必ず x の2次式であるといえるか。 ◀例題3

▲ I + A p.46

思考力 5 分散は散らばり具合を表す数値であり、「(偏差)²の平均値」で定義されるが、散らばり具合を表す数値として、「偏差の平均値」で定義するのは適切でない理由を説明せよ。 ◀例題155

▲ I + A p.306

思考力 5 U を全体集合とし、 A, B をその部分集合とする。 $A \subset B$ のとき、次の集合を簡単にせよ。
 (1) $A \cap B$ (2) $A \cup B$ (3) $A \cap \bar{B}$ (4) $\bar{A} \cup \bar{B}$ ◀例題40~42

▲ I + A p.92

思考力 6 「2本の当たりくじを含む5本のくじがある。1回くじを引き、その後引いたくじをもとに戻さないで再びくじを引くとき、2回とも当たりくじを引く確率は、 $\frac{2}{5} \times \frac{2}{5} = \frac{4}{25}$ である。」は正しいかどうか述べよ。また、正しくない場合は、正しい答えを求めよ。 ◀例題223

▲ I + A p.403

思考力 7 a を正の定数とする。2次関数 $y = 2x^2 - ax$ のグラフにおいて、 a の値を増加させたとき、頂点の位置が平行移動する方向を次の①~⑧のうちから1つ選べ。
 ① 右 ② 上 ③ 左 ④ 下 ⑤ 右上 ⑥ 左上 ⑦ 左下 ⑧ 右下 ◀例題66

▲ I + A p.142

思考力 5 $\triangle ABC$ の内心を I とし、 I から辺 BC, CA, AB に下ろした垂線をそれぞれ ID, IE, IF とするとき、 I は $\triangle DEF$ のどのような点か。 ◀例題234

▲ I + A p.433

思考力 8 次の値を小さい順に並べよ。
 (1) $\sin 20^\circ, \cos 50^\circ, \sin 110^\circ$ (2) $\cos 20^\circ, \cos 70^\circ, \sin 130^\circ$ ◀例題124

▲ I + A p.243

思考力 8 (1) 2024 と 2025 の最大公約数を求めよ。
 (2) すべての自然数 n に対して、 n と $n+1$ は互いに素であることをユークリッドの互除法を用いて証明せよ。 ◀例題267

▲ I + A p.496

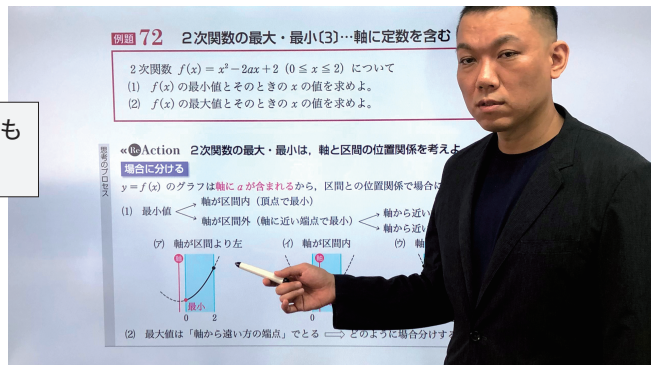
新傾向の入試対策にもなります。

11 「解説動画」で確実に理解, 「デジタルコンテンツ」で動的な考察

■ 解説動画

- 全ての例題, まとめの例に解説動画を用意しています。
- つまづきやすいポイントを音声付きで解説しているため, 分からない部分を繰り返し学習できます。

思考のプロセスも丁寧!



※画像はイメージです。実際のコンテンツとは異なる場合があります。

■ デジタルコンテンツ

- Dのある箇所にデジタルコンテンツを用意しています。
- 問題の場面を実際に動かして確認ができます。

■ デジタル公式集

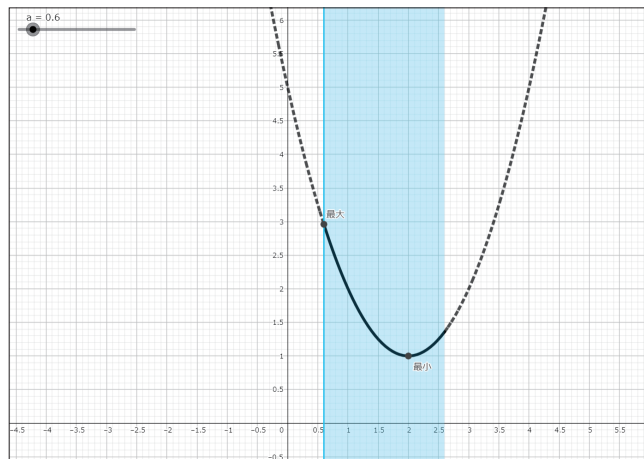
- 重要公式についてまとめ, その証明についても載せました。
定理の証明問題への対策としても利用できます。

■ LEGEND との差分例題

- FRONTIER にはなく LEGEND にある応用的な例題を Web で閲覧することができます。
- 難度の高い問題に取り組むことができます。

● 問題数

	I + A
中学校までの確認	21 題
Quick Check	78 題
例題・練習・問題	各 278 題
チャレンジ (コラム)	3 題
反復練習	18 題
定期テスト・単元テスト攻略	131 題
入試への準備	58 題
融合例題・練習・問題	各 6 題
共通テスト攻略例題・問題	各 7 題
入試攻略	51 題
合計	1,226 題



※画像はイメージです。実際のコンテンツとは異なる場合があります。

● 教師用データ

紙面データ (PDF), 演習ノートデータ (Word, PDF), 問題・解答のデータ (Word) などを弊社 Web サイトからダウンロードしてご利用いただけます。

コード	教材名	判型	頁数	色数	本体価格	定価 (税込)	付属品
38247	改訂版 NEW ACTION FRONTIER 数学 I + A 改訂	A5	576	3	2,045	2,250	解答編 (532 頁)

NEW ACTION FRONTIER シリーズの Libry 版 販売予定!



高校教育部 〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1
Tel: 03-5390-7320 Fax: 03-5390-7520

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>
東書 E ネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>